



水土里情報を活用した農業用燃料タンク調査について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 高知県、水土里ネット高知

取組概要

内容: 本県では施設園芸が盛んであり、南海トラフ巨大地震に対する農業用燃料タンクの防災・減災対策を検討するため、高知県より依頼を受け、平成24年度に水土里情報システムを活用してタンクの位置を図化するとともに、津波浸水想定エリアと重なるなど、津波による被害の把握や今後の対策に向けた基礎データとなるマップ等を作成。

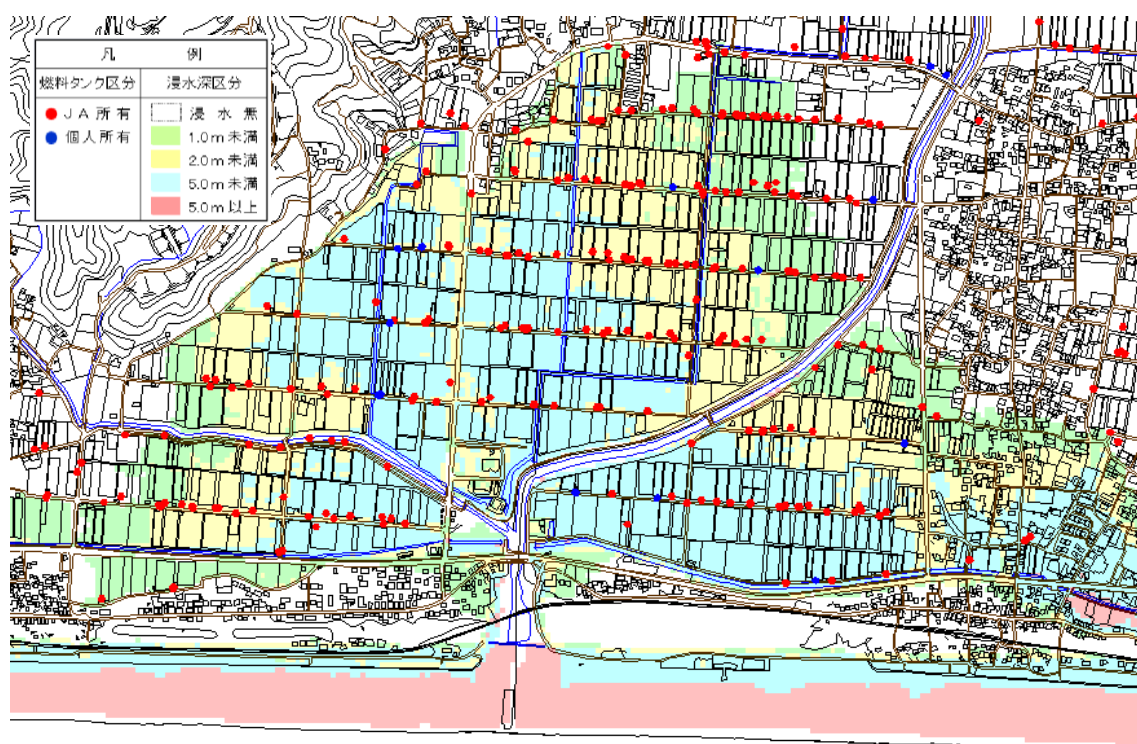
経緯: 現状と課題

- ①県内にある燃料タンク数、設置場所(地番等)が特定されていない。
- ②タンクの設置されている状態(劣化等)が把握されていない。
- ③沿岸部に多く設置されている。
- ④地震や津波による転倒等が想定される。
- ⑤遮断弁が設置されておらず、転倒により重油が流出するおそれがある。



期待される効果

- ①県土連等の現地調査によりデジタルカメラ(GPS機能付)を利用して撮影したデータ等は、水土里情報システムのオルソ画像や農地筆上に展開して地番等を特定するとともに、設置状態を容易に把握することが可能。
- ②津波による被害が想定される津波浸水エリアを背景とし、地域毎の浸水程度に応じたタンク数の集計が可能。
- ③関係機関がタンクの設置状況等を一元的に管理し、対策を実施するうえでの検討資料として利用。



今後の活用予定

県、市町村、JAなどの関係機関で情報を共有するとともに、調査等で得られた結果を基に順次対策を講じるための支援を行う。

■お問い合わせ先

高知県農業振興部流通支援課

088-821-4543

高知県土地改良事業団体連合会 事業課

088-823-5576

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添)

03-6744-2212(直通)